

2016 年 1 月 6 日 実施

1 (演習書 12.2.3 他)次で与えられる \mathbb{R}^3 のベクトルを考える .

$$\mathbf{a}_1 = \begin{bmatrix} 1 \\ 2 \\ 3 \end{bmatrix}, \mathbf{a}_2 = \begin{bmatrix} 2 \\ 3 \\ 1 \end{bmatrix}, \mathbf{a}_3 = \begin{bmatrix} 3 \\ 1 \\ 2 \end{bmatrix}, \mathbf{b}_1 = \begin{bmatrix} -1 \\ 2 \\ -1 \end{bmatrix}, \mathbf{b}_2 = \begin{bmatrix} 1 \\ 5 \\ 18 \end{bmatrix}, \mathbf{b}_3 = \begin{bmatrix} -7 \\ 1 \\ 0 \end{bmatrix},$$

(1) \mathbb{R}^3 の基底 $\mathcal{A} = (\mathbf{a}_1, \mathbf{a}_2, \mathbf{a}_3)$ に関する, $\mathbf{b}_1, \mathbf{b}_2, \mathbf{b}_3$ の座標をそれぞれ求めよ .(2) 線形写像 $f: \mathbb{R}^3 \rightarrow \mathbb{R}^2$ を次で定義する .

$$f(\mathbf{a}_1) = \begin{bmatrix} 3 \\ -1 \end{bmatrix}, \quad f(\mathbf{a}_2) = \begin{bmatrix} 2 \\ -1 \end{bmatrix}, \quad f(\mathbf{a}_3) = \begin{bmatrix} 1 \\ -1 \end{bmatrix}$$

\mathbb{R}^2 の基底 $\mathcal{F} = \left(\mathbf{v}_1 = \begin{bmatrix} 1 \\ 1 \end{bmatrix}, \mathbf{v}_2 = \begin{bmatrix} 1 \\ -1 \end{bmatrix} \right)$ を考え, \mathcal{F} に関する, $f(\mathbf{a}_1), f(\mathbf{a}_2), f(\mathbf{a}_3)$ の座標を求めることにより, \mathcal{A}, \mathcal{F} に関する f の表現行列 A を求めよ .

(3) \mathbb{R}^3 の基底 $\mathcal{B} = (\mathbf{b}_1, \mathbf{b}_2, \mathbf{b}_3)$ について, \mathcal{B}, \mathcal{F} に関する f の表現行列 B を求めよ .(4) \mathcal{A} から \mathcal{B} への基底変換行列 P を求めよ .(5) \mathbb{R}^2 の基底 $\mathcal{G} = \left(\mathbf{w}_1 = \begin{bmatrix} 2 \\ -1 \end{bmatrix}, \mathbf{w}_2 = \begin{bmatrix} -1 \\ 1 \end{bmatrix} \right)$ を考える . \mathcal{F} から \mathcal{G} への基底変換行列 Q を求めよ .(6) \mathcal{B}, \mathcal{G} に関する f の表現行列を C とするとき, C を P, P^{-1}, A, Q, Q^{-1} の中から必要なものを用いて表すことにより, 求めよ .(7) 線形写像 $g: \mathbb{R}^2 \rightarrow \mathbb{R}^3$ を

$$g\left(\begin{bmatrix} x \\ y \end{bmatrix}\right) = \begin{bmatrix} -x - 2y \\ -4x - 4y \\ 5x + 12y \end{bmatrix}$$

で定義する . \mathcal{F}, \mathcal{A} に関する g の表現行列 M を求めよ .(8) 合成写像 $g \circ f: \mathbb{R}^3 \rightarrow \mathbb{R}^3$ の \mathcal{A} に関する表現行列を求めよ .(9) 合成写像 $f \circ g: \mathbb{R}^2 \rightarrow \mathbb{R}^2$ の \mathcal{F} に関する表現行列を求めよ .(10) $f, g, g \circ f, f \circ g$ について, 標準基底に関する表現行列をそれぞれ求めよ .**1** を効率よく計算するためのヒント

拡大係数行列を何度も計算するよりも, $M_1 = [\mathbf{a}_1, \mathbf{a}_2, \mathbf{a}_3], M_2 = [\mathbf{v}_1, \mathbf{v}_2]$ の逆行列を予め計算しておくといよい . ちなみに M_1 の行列式は -18 , M_2 の行列式は -2 である .

2 (木田雅成『線形代数学講義』問題 VI.15(ii))

ベクトル空間 V の基底 $\mathcal{A} = (\mathbf{a}_1, \mathbf{a}_2, \mathbf{a}_3)$ とベクトル空間 W の基底 $\mathcal{B} = (\mathbf{b}_1, \mathbf{b}_2, \mathbf{b}_3, \mathbf{b}_4)$ に対し, 線形写像 $f: V \rightarrow W$ を

$$f(\mathbf{a}_1) = -\mathbf{b}_1 - \mathbf{b}_3 + \mathbf{b}_4, \quad f(\mathbf{a}_2) = 3\mathbf{b}_1 + 3\mathbf{b}_3 - 3\mathbf{b}_4, \quad f(\mathbf{a}_3) = -2\mathbf{b}_1 + \mathbf{b}_2 - 2\mathbf{b}_3 + 2\mathbf{b}_4,$$

で定義する.

- (1) \mathcal{A}, \mathcal{B} に関する f の表現行列 A を求めよ.
- (2) A を用いて, $\text{Ker } f$ の次元と基底を一組求めよ. また, $\text{Im } f$ の次元と基底を一組求めよ.

3 (演習書 12.2.6(2), 12.2.7(4), 12.2.8(2))

次の線形変換について, 標準基底に関する表現行列を求めよ.

- (1) 直線 $y = x$ に関する対称移動の引き起こす \mathbb{R}^2 の線形変換.
- (2) 平面 $x + y + z = 0$ に関する対称移動の引き起こす \mathbb{R}^3 の線形変換.
- (3) $\mathbf{a} = \begin{bmatrix} a_1 \\ a_2 \\ a_3 \end{bmatrix}$ をひとつ固定したとき, $f(\mathbf{x}) = \mathbf{a} \times \mathbf{x}$ で定まる \mathbb{R}^3 の線形変換 f .

4

2 次以下の実数係数 1 変数多項式全体のなすベクトル空間を $\mathbb{R}[x]_2$ と表す. 線形変換 $D: \mathbb{R}[x]_2 \rightarrow \mathbb{R}[x]_2$ を次で定義する.

$$D(f(x)) = 2f(x) - (x+1)f'(x)$$

- (1) $\mathbb{R}[x]_2$ の基底 $\mathcal{A} = (1, x, x^2)$ に関する D の表現行列 A を求めよ.
- (2) A を用いて $\text{Ker } D, \text{Im } D$ の基底をそれぞれ一組求めよ.
- (3) $\mathbb{R}[x]_2$ の別の基底 $\mathcal{B} = (1+x, x+x^2, x^2)$ に関する D の表現行列を求めよ.

要点 (木田雅成『線形代数学講義』p.155, 定義 23.9, 命題 23.12)

V, W がベクトル空間で, $f: V \rightarrow W$ が線形写像であるとする.

V の基底 $\mathcal{A} = (\mathbf{v}_1, \dots, \mathbf{v}_n), \mathcal{A}' = (\mathbf{v}'_1, \dots, \mathbf{v}'_n)$ と W の基底 $\mathcal{B} = (\mathbf{w}_1, \dots, \mathbf{w}_m), \mathcal{B}' = (\mathbf{w}'_1, \dots, \mathbf{w}'_m)$ を考える. \mathcal{A}, \mathcal{B} に関する f の表現行列とは,

$$(f(\mathbf{v}_1), \dots, f(\mathbf{v}_n)) = (\mathbf{w}_1, \dots, \mathbf{w}_m)A$$

を満たす $m \times n$ 行列 A のことをいう. \mathcal{A} から \mathcal{A}' への基底変換行列とは,

$$(\mathbf{v}'_1, \dots, \mathbf{v}'_n) = (\mathbf{v}_1, \dots, \mathbf{v}_n)P$$

を満たす $n \times n$ 行列 P のことをいう. \mathcal{A}' から \mathcal{A} への基底変換行列は P^{-1} である. さらに, \mathcal{B} から \mathcal{B}' への基底変換行列を Q とするとき, $\mathcal{A}', \mathcal{B}'$ に関する f の表現行列は, 上の記号を用いて, $Q^{-1}AP$ と表される.